

令和五年度 前期入学試験問題

国語

注意 答えはすべて解答用紙に記入すること。

純真高等学校

—
次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

ひとは「うれしい」とかんとんに言う。「悲しい」とも、かんとんに言う。

だれかに何か贈り物をもらったとき、あるいは優しい言葉をかけてもらったとき、そのひとへの返礼の気持ちを表わすのに、「うれしい」は、たしかに、^aカンケツにしている確かな言葉である。「うれしい」との発言が、気持ちのやりとりの行為として、儀礼的ともいえるその行為の脈絡のなかに、きちんとはまっているからである。

A 「うれしい」とは言ったものの、じぶんのほんとうの気持ちはいったいどういうものなのだろうかと自問しはじめると、^①事はとたんにやつかいになる。「うれしい」の一言では、言葉はまったく足りないような気になる。□では「うれしい」と言いながら、「申し訳ない」という恐縮した気持ち、「借りができたな」というフタンの気持ち、「うれしい」の一言ではとても言い尽くせない感謝の気持ち……と、さまざまな想いが錯綜^{注1}しているのに気づく。言葉に、綾^{注2}が、陰影がまとわりついているのに気づく。じぶんがいま抱いている感情に対して、言葉がつくづく乏^cしいとおもう。「うれしい」の一言がじぶんの心の陰りや裾野にまで届いていないなど、おもう。

けれどもほんとうにそうなのだろうか。

ある哲学者が言っていた。 B わたしたちが言葉というものをもたなかったら、ひとはいまじぶんを襲っている感情がいったいどういうものか、おそらくは理解できなかったであろう、と。これが意味するところは、言葉が、何かすでにあるものを叙述するというより、なにかある、^②形のさだかでないものに、^③はじめてかたどりを与えるということだ。言葉にしてはじめて C ということがあるということだ。

「わかる」とは、^④まさに言い得て妙である。もやもやしたこと、漠然としてなにかわからないものに包まれているとき、それをいくつかの要素に区分けする。たとえばひとの感情なら、 D に分ける。いやそもそも感情じたいが、意志や判断と分けてはじめて、それとして^{注3}同定できるものである。形なきものに形を与えるということ、そこに言葉のはたらきがある。言葉にすることではじめて存在するようになるものがあるということだ。

いったん区分けをすると、^{注4}こんどはそのさまざまなあわいにあるものが見えてくる。陰りやグラデーションといった濃淡も見えてくる。さらにはその裏で同時にうごめきだしている反対感情も顕在化してくる（これがアンビヴァレンツである^{注5}）。そのようにして、心にますますこまやかな起伏やひだが、つまりは「あや」(綾・彩)が生まれるのである。言葉が心にかたどりを与えるというのは、^⑤そういうことだ。

- (注1) 錯綜……複雑に入りまじること
(注2) 綾が、陰影がまわりついている…表面的な言葉の裏に微妙な意味合いがふくまれているということ
(注3) 同定……あるものを或るものとして認めること
(注4) はざまやあわい……「はざま」も「あわい」も、ものとの間の間、隙間
(注5) アンビヴァレンツ……同じ事柄に相反する二つの感情や態度を持つこと

問一 二重傍線部 a～d のカタカナは漢字に直し、漢字は読みを答えなさい。

問二 傍線部①について話をした生徒の会話である。正しく理解している者を後から一つ選び、符号で答えなさい。

生徒 A …確かに言葉で自分の気持ちを表現するのって難しいよね。私なんて何でも「やばい」で片づけちゃうし。

生徒 B …それはやばいね。(笑)

生徒 C …私は「こうだ」と思っても、言葉にするの嫌だな。みんなに違うって言われそうで。

生徒 D …僕は「こうだ」と思って言葉にしても、なんだかそんな言葉じゃない気もして、自信ないんだ。

生徒 E …そうそう。本当はみんながどう思っているかわからないしね、下手に発言して周りから浮いちゃう怖さがあるよ。

生徒 F …うん、うん。みんなが思っていることを正しく理解してあげたいよね。

ア 生徒 A イ 生徒 B ウ 生徒 C エ 生徒 D オ 生徒 E カ 生徒 F

問三 空欄 A・B に入る言葉として最も適切なものを次の中からそれぞれ選び、符号で答えなさい。

A	ア	そして	イ	すると	ウ	だから	エ	ところが
B	ア	だから	イ	だが	ウ	もし	エ	なので

問四 傍線部②とあるが、文中では何を指しているか、二字で抜き出さない。

問五 傍線部③とあるが、文中で同じ意味で使われている表現を五字以内で抜き出さない。

問六 空欄Cに入る言葉として適切なものを文中から三字で抜き出さない。

問七 傍線部④の言葉の意味として適切なものを次の中から選び、符号で答えなさい。

ア 難解な表現 イ 安易な表現 ウ 適切な表現 エ 奇妙な表現

問八 空欄Dには人の感情を表す四字熟語が入る。それを漢字で正しく答えなさい。

問九 傍線部⑤とあるがどういふことか、最も適切なものを次の中から選び、符号で答えなさい。

ア 漠然とした思いを一つの言葉で表現すると、言葉では表せない思いもまた明確になってくる。

イ ひそかに心の中に押さえ込んでいた思いを言葉で表現すると、心の中にぽっかりと穴が開いてしまう。

ウ 自分の思いを言葉にすることによって、ざわざわと高ぶっていた思いも落ち着いてくる。

エ 自分の思いを正確に言葉にすることにより、自分の入り組んだ感情がいくつかの型に分類されていく。

次の国語常識に関する問いに答えなさい。

問一 次のことわざとほぼ同じ意味を持つものをそれぞれ選び、符号で答えなさい。

- ① 弘法も筆の誤り
- ② 弱り目にたたり目
- ③ 捕らぬ狸の皮算用
- ④ 三つ子の魂百まで

ア 絵にかいた餅 イ のれんに腕押し ウ 雀百まで踊り忘れず エ 河童の川流れ オ 泣き面に蜂

問二 次のことわざの空欄に入ることばを漢字で答えなさい。

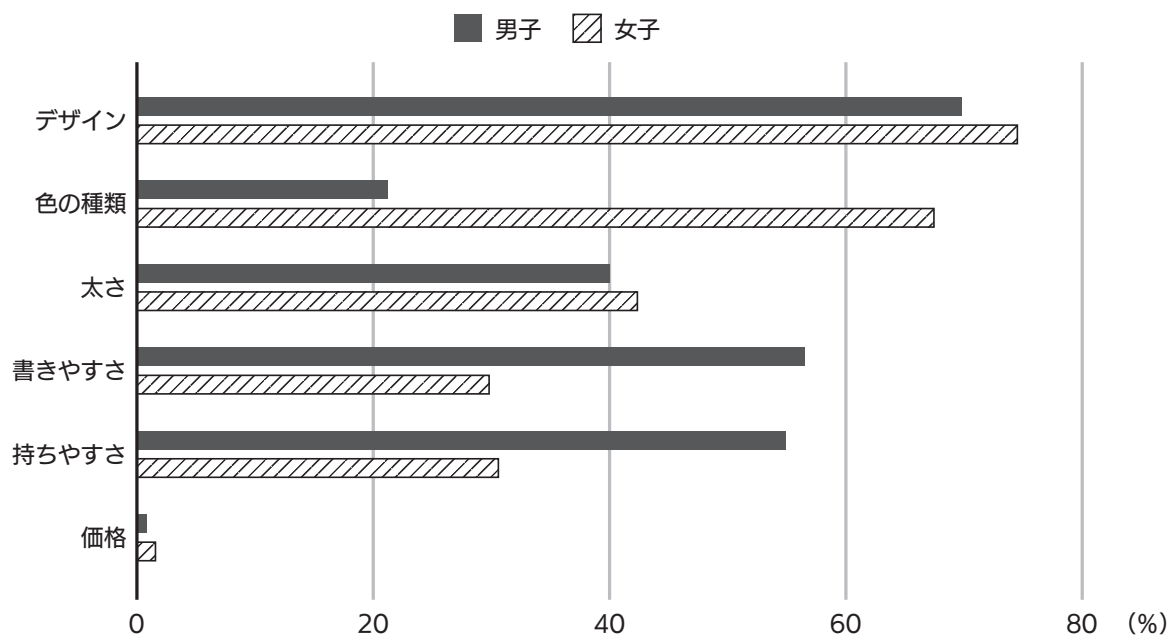
- ① 雨降って□□固まる
- ② 焼け□□に水
- ③ 青菜に□□
- ④ □□から目薬

問三 次の文には漢字の間違いがある。例にならって間違いを指摘し、正しい漢字を答えなさい。

(例) 町外れの海岸線には航空自衛隊の機地がある。 (答え) 機 ↓ 基

- ① 度重なる粉争が原因で、経済の発展が著しく遅れている。
- ② 中学校の同窓会に温師を招待する。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。



J社の人気商品は、主に中高生を対象に、開発・販売している水性ペンの「Jペン」である。その商品開発の参考にするため、インターネット上で中高生に対して、アンケートを行った。アンケートの内容は、どのようなところに惹かれて「Jペン」を購入しているのかということである。

上の図の通り、その結果を男女別にまとめた。というのも、今回の結果に関しては、男女差が大きく出る項目があったからである。

「色の種類」は女子の方が多く、(①)。「書きやすさ」「持ちやすさ」は女子が(②)なのに対し、男子は五割以上となっている。女子は、「色の種類」の回答が多いことから、表現の多様性を強く求めていると考えてよいだろう。一方の男子は、「書きやすさ」「持ちやすさ」の回答が多く、使い心地を重視する傾向があると言えそうである。なお、「デザイン」については男女とも六割以上の回答があり、(③)ことがわかる。

今後は、「デザイン」という魅力を維持しつつ、女子の希望と男子の希望を満たす商品の開発をするために、工夫する必要があるだろう。

問一 空欄①に入る内容として、最も適切なものを次の中から選び、符号で答えなさい。

ア 男子の回答は二割前後であるのに対し、女子は七割近くとなっている

イ この項目を答えた男子が三〇人から四〇人程度であるのに対し、女子は六〇人以上となっている

ウ この項目を選んだ女子の割合が、男子の四倍以上となっていることが読み取れる

問二 空欄②に入る内容として、最も適切なものを次の中から選び、符号で答えなさい。

ア 五割以上 イ 三割前後 ウ 二割未満

問三 空欄③に入る内容として、最も適切なものを次の中から選び、符号で答えなさい。

ア 性別より年齢の違いに注目して考察する必要がある

イ この項目が男子にも女子にもそれほど重視されていない

ウ よりよいデザインは、男女の違いに関係なく必要とされている

問四 本文中に示された図から考えられる意見として、最も適切なものを次の中から選び、符号で答えなさい。

ア 男子より女子にとって、魅力的な商品となっている。

イ 魅力的な価格になっているとは、言い難い。

ウ デザインについては、改善の余地がある。

問五 傍線部に関する意見として、最も適切なものを次の中から選び、符号で答えなさい。

ア 「デザイン」と「太さ」の項目は、男女の違いがあまり出ていない項目なので、今後の商品開発に関しては、これらの点を考慮する必要はなく、とにかく「価格」について考えていくべきではないか。

イ 男子の方が回答数が多いため、今後は女子に対して魅力的な商品をつくらなければならないことを考えると、使い心地に関する項目については、あまり考慮しなくてもよいのではないか。

ウ 必ずしも男女の違いというわけではないのかもしれないが、商品の魅力に二面性があることは間違いないので、それぞれの特徴を生かした二種類の商品を開発してもよいのではないか。

四

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

今は昔、唐(注1)に莊子(注1)といふ人ありけり。家いみじう貧しくて、今日の食物絶えぬ。隣に監河侯(注2)といふ人ありけり。それがもとへ今

日食ふべき料の粟(注3)を乞ふ。河侯が曰く、「今五日ありておはせよ。千両の金を得んとす。それを奉らん。いかでかやんことなき人に、
差し上げよう

今日参るばかりの粟をば奉らん。返す返すおのが恥なるべし」といへば、莊子の曰く、「昨日道をまかりしに、跡に呼ばふ声あり。
参りましたところ

顧みれば人なし。ただ車の輪跡のくぼみたる所にたまりたる少水に、鮒(注4)一つふためく。何ぞの鮒にかあらんと思ひて寄りて見れば、
ばたばたしている

少しばかりの水にいみじう大きな鮒あり。『何ぞの鮒ぞ』と問へば、鮒の曰く、『我は河伯神(注5)の使に、江湖へ行くなり。それが飛び

そこなひて、この溝に落ち入りたるなり。喉渴き死なんとす。我を助けよと思ひて呼びつるなり』といふ。答へて曰く、『吾今二三(注6)

日ありて、江湖といふ所に遊びしに行かんとす。そこにもて行きて放さん』といふに、魚の曰く、『さらにそれまでえ待つまじ。た

だ今日一提ばかりの水をもて喉をうるへよ』といひしかば、さてなん助けし。鮒のいひし事、我が身に知りぬ。さらに今日の命、物

食はずは生くべからず。後の千の金さらに益なし』とぞいひける。それより、『後の千金』といふ事名譽せり。
評判になった

〔宇治拾遺物語〕による

(注1) 莊子……中国戦国時代の思想家

(注2) 監河侯……河川の監視をする役人

(注3) 粟……穀物の一種

(注4) 河伯神……河の神

(注5) 江湖……河や湖

(注6) 一提……おけなどの容器一杯

問一 二重傍線部 a・b を現代仮名遣いに直し、ひらがなで答えなさい。

問二 傍線部①・⑤の意味として、最も適切なものを次の中から選び、符号で答えなさい。

- | | | | | |
|---|-------|--------|----------|-------|
| ① | ア 汚い | イ 悲しい | ウ はなはだしい | エ 長年 |
| ⑤ | ア そこで | イ ところが | ウ そのまま | エ すぐに |

問三 傍線部②とあるが、「鮒」の状況の説明として適切でないものを一つ選び、符号で答えなさい。

- ア 莊子に助けを求めて声をかけた。
イ 江湖へ遊びに行こうとしていた。
ウ 喉が渇き死にそうになっている。
エ 飛びそこなって溝にはまっている。

問四 傍線部③を具体的に示した箇所を、文中から十字程度で抜き出さない。

問五 傍線部④の現代語訳として、最も適切なものを次の中から選び、符号で答えなさい。

- ア 決してそれまで待つことはできないだろう。
イ 決してそれまで待たないほうがよいだろう。
ウ その上それまで待たないといけないだろうか。
エ それならばそれまで待つことにしようか。

問六 傍線部⑥について、「鮒」の話は、この時の「莊子」の状況をたとえたものである。たとえ話の中のⅠ「吾」・Ⅱ「鮒」・Ⅲ「一提ばかりの水」に当たるものをそれぞれ選び、符号で答えなさい。

- | | | | |
|------|-------|--------|-------------|
| ア 莊子 | イ 監河侯 | ウ 千両の金 | エ 今日食ふべき料の粟 |
|------|-------|--------|-------------|

問七 傍線部⑦の言葉と同じ意味の言葉を次の中から選び、符号で答えなさい。

- ア 一獲千金
イ 後の祭り
ウ 遠くの親類より近くの他人
エ 遠水は、近火を救わず

受験番号
出身学校
氏 名
得 点

令和五年度（前期）国語解答用紙

一

問一 a
b
c
しい
d

問二
問三 A
B

問四
問五

問六
問七

問八
問九

二

問一 ①
②
③
④

問二 ①
②
③
④

問三 ①
↓
②
↓

三

問一
問二
問三

問四
問五

四

問一 a
b

問二 ①
⑤
問三

問四

問五

問六 I
II
III

問七